

# センバツ初勝利

## 村中監督が試合を振り返る



▲村中先生は次の試合も楽しみにしておられる。

3月28日に行われた慶應義塾高校とのセンバツ2回戦で、本校野球部が逆転勝利した。監督の村中隆之先生がセンバツ初戦の感想と、31日に行われる予定の3回戦（花巻東戦）に向けての意気込みを語られた。



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

### ●センバツ初戦を終えての感想

— 思った通り投手戦。序盤は色々上手くいかず、後半勝負の展開だった。増居がしっかりと投げられてリズムを作ってくれたし、高内が良いところでホームランを打ってくれた。あれは勇気づけられる、

良いホームランだった。

●先発で出場し、完投した増居翔太君（2-4）のピッチング

— よく踏みとどまったと思う。7回8回と最小失点で何とか凌いでくれたのは大きい。最終回は息を吹き返したように全力のピッチングをしてくれた。本当によくやってくれたと思う。

●高内希君（2-8）の逆転3ランホームラン

— 昨日まではあまり打てていなく、状態は良くなかった。でも1打席目で良いスイング

をしていたので、いけると思った。2、3打席目のレフト前ヒットで、さらにスイングが良くなっていった。ホームランを打ったときは良く振れていたと思う。自分たちは甲子園で長打を打てるチームを目指している。これまでも良いところで打つとホームランも多かった。ヒットも11本出ているし、あまり打てないと思っていたチームだったが、良くなってきていると思う。

●次の相手、花巻東について

— 5年前の夏に甲子園に出たときの相手。そうやって戦った相手にセンバツという良い舞台で会えてうれしい。「リベンジ」と言う人も多いが、しっかりとやるべきことをしていきたい。2013年の先輩も思うことがあるだろうが、今回は彼らよりも良い試合をしたい。

●次の試合に向けて

— ランナーアウトが多かったのは次の試合の課題。バントができていなかったのも課題。勝って上に上がれば上がるほど、細かいプレーをしつかりとしていかなければならない。そこをもう少し調整していきたい。

## 赤鬼の春Ⅱ 46